

事務事業調書

平成26年度

事業No	764	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 石川広之
決裁者	野畠伸					
事務事業名	学校施設スポーツ開放事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 5 スポーツ施設の効率的利用と整備充実 3 地域スポーツの活動拠点の整備充実	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-30-5
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画
		関連する総合計画の施策	
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無		
法定受託事務	無		
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		
実施方法	一部委託	委託先	その他(学校開放運営委員会)
実施期間	開始 昭和50年度	経過 39年目	終了
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	地域住民が ～になる	自主的にスポーツ活動ができるようになります。
事務事業の内容	学校の施設を地域住民に開放してもらうことで、地域のコミュニティ活動の推進や、自主的にスポーツ活動でできるグループを支援します。市内小中学校29校と、県立学校5校で実施しています。		
改善・対策の履歴	施設、備品の調査をし、計画的な修繕、更新を行っています。		

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	43,357	13,172	16,346	20,710	15,316
財源計	37,750	9,581	12,755	17,119	11,725
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	5,735	5,520	5,500	6,252
	一般財源	32,015	4,061	7,255	10,867
受益者負担金	5,735	0	5,500	0	5,500
職員人件費 (従事職員数)	5,607 (0.89)	3,591 (0.57)	3,591 (0.57)	3,591 (0.57)	3,591 (0.57)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) 学校施設開放	見込	34.00	34.00	34.00	34.00
		実績	34.00	34.00	34.00	
活動2	指標名 (単位) 施設数(ヶ所)	活動の総事業費 (千円)	43,357	15,188	16,474	
		活動にかかるコスト (千円)	1,275.21	446.71	484.53	
活動3	活動名 (活動内容)	見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				
活動名 (活動内容)		見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	年間利用者数(千人)(人)	目標	260.00	260.00	260.00	260.00
		実績	257.00	269.00	254.00	
成果2	目標達成年度 平成26年度 目標成果指標値 260.00	達成状況	未達成	達成	未達成	
		目標				
成果	目標達成年度 目標成果指標値	実績				
		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	身近な場所でスポーツをすることができ、市民の運動不足解消や健康に寄与しました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	照明等の管理を管理指導員に依頼していますが、コイン点灯盤を設置して経費の削減を図ります。
成果	利用者間の利用調整が難しく、施設が飽和状態になっている学校もありますが、まだ利用できる学校もあります。引き続きスポーツ施設としての学校施設をPRして、円滑な利用ができるように努めます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
学校開放運営委員会での円滑な利用調整の働きかけと、スポーツ施設としての学校施設利用方法のPR強化を行います。中学校体育館は、使用料を徴収しているので、ランプ切れの修繕を年2回実施することとします。運動場夜間照明施設は、平成24年度に実施した3年に1度の点検を今後も実施します。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	利用調整を行うことで有効活用を図ります。

事務事業調書

平成26年度

事業No	766	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 石川広之
決裁者	野畠伸					
事務事業名	野外センター開放事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策	予算科目(会計)		一般会計						
		予算科目(款・項・目)		50-30-5						
		総合計画以外の計画		スポーツ振興計画						
		関連する総合計画の施策								
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの							
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託	委託先	ボランティア							
実施期間	開始 昭和47年度	経過 42年目	終了	期間						
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	近代生活に慣れた市民が		～になる	自然の尊さに気付くようになります。					
事務事業の内容	安城市の野外センターは、作手野外センターと茶臼山野外センターの2箇所にあります。6月から9月まで、小中学校が利用をしない日を一般に開放し、多くに市民の方に利用してもらっています。一泊二日で、ファミリーキャンプも計画しています。									
改善・対策の履歴	利用申し込みの際、利用手順や利用マナーなどの指導をし、利用者同士が快適に過ごせる指導をしました。平成25年度のファミリーキャンプは、茶臼山野外センターで開催したため、参加者の利便性を考慮し、希望した参加者は大型バスでの送迎をしました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,119	2,112	2,227	2,168	2,199
財源計	166	33	148	89	120
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	166	33	148	89
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,953 (0.31)	2,079 (0.33)	2,079 (0.33)	2,079 (0.33)	2,079 (0.33)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) 指標名 (単位)	野外センターの一般開放	見込	0.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00
活動2	活動名 (活動内容) 指標名 (単位)	野外センター数(ヶ所)	活動の総事業費 (千円)	2,119	2,113	2,169
			活動にかかるコスト (千円)	1,059.50	1,056.50	1,084.50
活動3	活動名 (活動内容) 指標名 (単位)		見込			
			実績			

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	野外センター利用者数(人)		目標	800.00	800.00	800.00	800.00
			実績	754.00	1,043.00	821.00	
成果2	目標達成年度 平成26年度 目標成果指標値 800.00	達成状況	未達成	達成	達成		
		目標					
成果	目標達成年度 目標成果指標値 達成状況	実績					

5 成果1、2以外の成果

成果	利用した家族やグループの親睦を図ることができました。
----	----------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	年により利用者にはらつきがありますが、25年度はファミリーキャンプを茶臼山で開催することができました。利用者数が減少していることもあります、ほぼ定員数で開催ができました。
成果	団体の利用が減ったため、全体の利用者数が減少したと考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	利用が比較的少ない茶臼山高原野外センターについては、自然の景観、近隣の観光地（山上の芝桜）などさまざまな情報を提供して利用の増大を図ります。あわせて、学校教育課とも連携して、施設の安全管理を徹底します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	安城市から近い作手の利用者が多く、遠い茶臼山の利用が少ない状況となっています。両センターとも、利用者数は年度により差がありますが、利用された方から好意的な意見もいただいていることから、ファミリーキャンプや近くの施設の利用案内、PRを積極的に行いながら、施設の活用を行っていきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	767	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 石川広之
決裁者	野畠伸					
事務事業名	歩け・ランニング運動事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 1 マイスポーツ運動の推進 1 市民が参加しやすいスポーツの提供	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-30-5
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画
		関連する総合計画の施策	
		性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	無		
法定受託事務	無		
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		
実施方法	全部委託	委託先	ボランティア
実施期間	開始 昭和41年度	経過	48年目
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	軽運動をしたいと考えている市民が ～になる	日々、歩いたり走ったりすることが定着するようになります。
事務事業の内容	4月～10月までの毎週日曜日の早朝に、市内25会場で歩いたりジョギングをしたりして、地域の方が自主的に集まり、活動しています。会場の案内を掲載したマップも作成し、手軽に気軽に参加してもらえる事業です。		
改善・対策の履歴	市内各会場が分かるよう「歩けランニング運動」会場マップの作成をして、公共施設等で配布しました。		

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,796	2,395	2,718	2,577	2,503
財源計	851	631	954	813	739
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	851	631	954	813
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	945 (0.15)	1,764 (0.28)	1,764 (0.28)	1,764 (0.28)	1,764 (0.28)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) 歩け・ランニング会場の開催	会場数(会場)	見込	6.00	25.00	25.00	25.00
			実績	25.00	25.00	25.00	
活動2	活動名 (活動内容)		活動の総事業費 (千円)	1,796	2,395	2,577	
			活動にかかるコスト (千円)	71.84	95.80	103.08	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
指標名 (単位)			活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
指標名 (単位)			見込				
			実績				
指標名 (単位)			活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	歩けランニングの参加者数(人)			目標	8,000.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00
				実績	7,872.00	8,140.00	7,761.00	
目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	7,800.00	達成状況	未達成	達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
目標達成年度		目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	歩けランニング運動及び啓発により、健康意識の高揚とウォーキング・ランニング愛好者の増加につながり、健康づくりや体力づくりに貢献することができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	事業の内容や趣旨を広く分かりやすくPRするため、「歩けランニング運動」会場マップの作成をしたことにより、コストが増加しました。
成果	少しづつ参加者が減少傾向にあると考えられます。40代から60代の参加が比較的少ないです。継続的に地域での声掛けが大切です。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
地域の魅力を感じられるようなコースへの変更や、わかりやすいPRに努め、参加者の増加を図ります。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	地域指導員の固定化、減少化にあり、後継者の育成と参加者増加の啓発活動が急務です。今後も魅力あるコース設定や手軽で楽しく健康保持できることなどをPRしながら事業の展開を行います。

事務事業調書

平成26年度

事業No	768	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者	籠瀬博敬
決裁者	野畠伸						
事務事業名	シティマラソン・市民駅伝大会事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-30-5
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画
		関連する総合計画の施策	
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無		
法定受託事務	無		
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		
実施方法	一部委託	委託先	民間企業、N P O
実施期間	開始 昭和42年度	経過 47年目	終了
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	スポーツをしたいと考えている市民が ～になる	ランニング・ジョギングに取り組むよう になります。
事務事業の内容	総合運動公園と市街地の約10キロを走るシティマラソンと、デンパーク園内とその周辺道路をたすきで繋いでいく市民デンパーク駅伝の開催を実行委員会へ補助金を出し運営しています。 愛知万博を記念して開催されている市町村対抗駅伝大会の出場選考等を安城市体育協会に委託しています。		
改善・対策の履歴	安城シティマラソンは、安全面の配慮から参加制限を設けました。安城市民デンパーク駅伝大会では、安全面の配慮からコースの一部変更を行うとともに、タスキ引継ぎの円滑化のため、中継所2の位置を変更しました。		

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	10,163	14,990	14,030	12,159	14,042
財源計	7,076	10,013	9,053	7,182	9,065
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	7,076	10,013	9,053	7,182
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,087 (0.49)	4,977 (0.79)	4,977 (0.79)	4,977 (0.79)	4,977 (0.79)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	シティマラソン・駅伝大会実行委員会補助金交付	見込	3,000.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	2.00
活動2	活動名 (活動内容)	万博記念市町村対抗駅伝参加事業委託	活動の総事業費 (千円)	9,195	11,155	10,195	
			活動にかかるコスト (千円)	4,597.50	5,577.50	5,097.50	
活動3	活動名 (活動内容)		見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)	496	496	496	
			活動にかかるコスト (千円)	496.00	496.00	496.00	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	シティマラソン・参加人数(人)		目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績	3,403.00	3,850.00	3,513.00	
成果2	駅伝・参加人数(人)		目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	3,000.00	達成状況
			目標	1,100.00	1,100.00	1,100.00	達成
	目標達成年度	平成26年度	実績	1,270.00	1,346.00	1,440.00	
			達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	シティマラソン、駅伝大会へ、家族や職場単位で参加される方が多く、親睦が図れることにより、市民の活力の向上に寄与しました。日ごろから、ジョギング、ランニングを愛好する方が増加できました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	平成25年度は、平成24年度において市制60周年記念として駅伝大会で招待したゲストランナーを招待しなかったため、コストを下げることができました。	
成果	平成25年度は、シティマラソンで安全面からの配慮で参加制限を設けたため、参加人数が減少しましたが、シティマラソン、駅伝大会とも日頃のジョギング・ランニングの成果を試す機会として定着したため、参加を希望される方は増加しています。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
安全面の配慮を十分にしながら、参加者の増加が図れるよう、コース変更等の変更の検討を実行委員会に対し、働きかけを行います。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	ランニング・ジョギング爱好者を増やすために有効であることから、今後もコース等の改善やPRを行なうながら、安城シティマラソン、安城市民デンパーク駅伝大会を開催します。あわせて、市町村対抗駅伝大会にも参加を続けます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	769	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者	籠瀬博敬
決裁者	野畠伸						
事務事業名	安城選手権大会事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 2 競技スポーツの振興 2 選手育成事業の推進	予算科目(会計)	一般会計							
		予算科目(款・項・目)	50-30-5							
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画							
		関連する総合計画の施策								
性質区分		市の内部事務事業								
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託	委託先	N P O							
実施期間	開始 昭和54年度	経過	35年目	終了		期間				
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	競技スポーツに取り組む市民が		～になる	技能と意欲の向上につながります。					
事務事業の内容	競技スポーツに取り組む市民のナンバー1を決める大会として開催しています。体育協会加盟の20団体が主管して開催しており、夏季大会は水泳競技、冬季大会はスキー競技、秋季大会は、それ以外の18競技で行っています。									
改善・対策の履歴	水泳競技の夏季大会において、事前に小中学生への練習会を行っています。従来は飛び込みの仕方だけの指導でしたが、水泳協会の指導者も参加いただき、泳法の指導もしていただけことになりました。結果として、本大会での泳法違反が減り、円滑な大会運営につながりました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	9,828	10,059	10,053	10,041	10,316
財源計	9,198	9,240	9,234	9,222	9,497
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	9,198	9,240	9,234	9,222
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	819 (0.13)	819 (0.13)	819 (0.13)	819 (0.13)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) 安城選手権大会運営業務委託	見込	4,000.00	3.00	3.00	3.00
		実績	3.00	3.00	3.00	
活動2	指標名 (単位) 委託件数(件)	活動の総事業費 (千円)	9,828	10,059	10,041	
		活動にかかるコスト (千円)	3,276.00	3,353.00	3,347.00	
活動3	活動名 (活動内容)	見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				
活動名 (活動内容)		見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	参加人数(人)			目標	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
				実績	4,152.00	4,752.00	4,662.00	
目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	4,000.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
目標達成年度		目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	スポーツ愛好者がそれぞれの種目で技術を競い合い、友好を深めている。また、大会出場を励みに日々の練習を重ねている。H25夏季大会665名、秋季大会3,912名、冬季大会85名で、学校の協力により多くの児童、生徒、学生が参加することで、競技レベルの向上が図れました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	体育協会への委託による大会運営が定着が図られたことにより、大きな増減は見られません。
成果	他の大会との日程の重複などにより、年ごとの参加人数が増減していると考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
体育協会加盟スポーツ団体や中小体育連盟安城支所への働きかけと、PRの強化を図り、参加者の増加に努めます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	今後も、安城市の競技スポーツのナンバーワンを決める大会として、競技スポーツに取り組む市民の意欲向上のため、安城選手権大会を開催します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	771	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者	籠瀬博敬
決裁者	野畠伸						
事務事業名	早朝野球大会事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 2 競技スポーツの振興 2 選手育成事業の推進	予算科目(会計)	一般会計				
		予算科目(款・項・目)	50-30-5				
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画				
		関連する総合計画の施策					
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託	委託先	その他(安城市早朝野球連絡会)				
実施期間	開始 昭和47年度	経過 42年目	終了	期間			
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	軟式野球を愛好する市民が	～になる	レベルと意欲の向上につながります。			
事務事業の内容	仕事前の早朝に開催する野球大会を開催し、特に仕事をしている世代のスポーツ意欲の向上やきっかけづくりを行っています。						
改善・対策の履歴	広報あんじょう、ホームページでの参加者募集だけでなく、安城ホームニュースなど地元のメディアへの情報提供を行いました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383
財源計	60	60	60	60	60
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	60	60	60	60
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,323 (0.21)	1,323 (0.21)	1,323 (0.21)	1,323 (0.21)	1,323 (0.21)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) 託	見込	110.00	1.00	1.00	1.00
		実績	1.00	1.00	1.00	
活動2	指標名 (単位) 委託件数(件)	活動の総事業費 (千円)	1,383	1,383	1,383	
		活動にかかるコスト (千円)	1,383.00	1,383.00	1,383.00	
活動3	活動名 (活動内容)	見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				
活動名 (活動内容)		見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	参加人数(人)		目標	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績	98.00	91.00	90.00	
成果2	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
				目標			
成果	目標達成年度	目標成果指標値		実績			
				達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	早朝野球愛好者が一堂に集まって軟式野球を楽しむことができ、参加チームの親睦を図ることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等 早朝野球連絡会の運営により、円滑な大会が開催されていることから、コストの増減は見られません。
成果	毎年90名前後の参加者で推移しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案 目に付くようなPRや、各野球チームや企業に働きかけを行い、参加者の増加に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性 維持・継続	早朝の施設利用の促進と、働く世代にスポーツ実施の働きかけをする手段として有効であるため、今後も早朝野球大会を開催します。
---------------------------------	--

事務事業調書

平成26年度

事業No	772	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 河村泰宏
決裁者 野畠伸						
事務事業名 地域スポーツ振興事業	事業種別			市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 1 マイスポーツ運動の推進 1 市民が参加しやすいスポーツの提供	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-30-5
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画
		関連する総合計画の施策	
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無		
法定受託事務	無		
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		
実施方法	全部委託	委託先	その他(スポーツ推進委員)
実施期間	開始 平成14年度	経過 12年目	終了
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	普段スポーツをしない市民が	～になる
事務事業の内容		普段、スポーツをしない人にスポーツを体験してもらったり、スポーツをする人にも経験のない他種目を体験してもらうなど、体を動かす楽しさを感じてもらうなど、スポーツ実施者の増加を図ります。	
改善・対策の履歴		スポーツ推進委員について、スポーツ推進委員の機関誌「マイスポーツ安城」だけでなく、生涯学習広報誌「あんてな」に紹介記事を掲載するなど、様々な手段を使い、PRを行いました。	

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	8,352	12,458	10,118	9,723	10,685
財源計	5,832	8,363	6,023	5,628	6,590
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	5,832	8,363	6,023	5,628
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,520 (0.40)	4,095 (0.65)	4,095 (0.65)	4,095 (0.65)	4,095 (0.65)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) 地域スポーツ振興事業委託	委託件数(件数)	見込	76.00	21.00	21.00	21.00
			実績	21.00	21.00	21.00	
活動2	活動名 (活動内容)		活動の総事業費 (千円)	3,462	5,075	5,067	
			活動にかかるコスト (千円)	164.86	241.67	241.29	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
指標名 (単位)			活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	地域スポーツ振興事業参加者(人)		目標	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00
			実績	9,143.00	10,083.00	10,865.00	
成果2	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	9,000.00	達成状況	達成	達成
					目標		
成果					実績		
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	地域において、スポーツでの地域コミュニティの醸成が図られました。
----	----------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
スポーツ推進委員に委託して体験会・交流会を開催することが定着したため、コストの大きな増減は見られません。
スポーツ推進委員の認知度向上や、総合型地域スポーツクラブとの連携を図った事業を行ったため、参加者が増加しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
わかりやすく、関心を持ってもらえるようなPRに心がけ、さらなる参加者の増加を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	成人の週1回スポーツ実施率50%の目標達成のため、身近な場所である地域でのスポーツ機会の提供の充実は重要であることから、今後も地域スポーツ振興事業を実施します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	773	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 籠瀬博敬
決裁者	野畠伸					
事務事業名	スポーツ大会補助金管理事務			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 2 競技スポーツの振興 2 選手育成事業の推進	予算科目(会計)	一般会計	
		予算科目(款・項・目)	50-30-5	
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画	
		関連する総合計画の施策		
性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	安城市スポーツ振興補助金交付要綱		
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始 平成元年度	経過 25年目	終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	競技スポーツに取り組む人、スポーツに関心のある市民が	～になる	日々の成果やスポーツのきっかけとなる機会の充実がはかれます。
事務事業の内容	体育協会が行うスポーツ事業、安城シティマラソン・安城市民デンパーク駅伝大会の実行委員会、全国大会や西三河地区以上で、持ち回りで開催するスポーツ大会に対し、「安城市スポーツ振興補助金交付要綱」に基づき、運営経費の一部を補助します。			
改善・対策の履歴	補助金交付団体に対し、事業会計の適切な使途について指導しました。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	135	1,830	1,758	1,718	1,638
財源計	72	192	120	80	0
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	72	192	120	80
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	63 (0.01)	1,638 (0.26)	1,638 (0.26)	1,638 (0.26)	1,638 (0.26)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	見込	3.00	5.00	3.00	0.00
		実績	1.00	5.00	2.00	
活動2	指標名 (単位)	事業数(事業)	活動の総事業費 (千円)	103	1,830	1,718
		活動にかかるコスト (千円)	103.00	366.00	859.00	
活動3	活動名 (活動内容)	見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	補助金交付大会参加者数(名)			目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00
				実績	300.00	1,221.00	1,282.00
成果2	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成
					目標		
成果	目標達成年度		目標成果指標値		実績		
					達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	幅広い世代でスポーツを競うこととなり、人と人の交流が進み、競技スポーツ実施者の活力向上につながりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
	年度ごとに、補助金の対象となる大会数に違いがあることから、活動コストの変動があると考えられます。
成果	多くの方が参加され、日頃の鍛錬の成果を試すことで、さらなる競技力向上につながっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
一般の方が見学等でも参加できるような大会を増やすよう働きかけるとともに、補助金の適正な使途について指導していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
選手の競技力向上と競技団体の育成にも効果があることから、今後も事業を継続します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	774	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者	籠瀬博敬
決裁者	野畠伸						
事務事業名	スポーツスクール（教室）開催事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 4 スポーツ団体の育成 2 自主グループの育成	予算科目(会計)	一般会計				
		予算科目(款・項・目)	50-30-5				
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画				
		関連する総合計画の施策					
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託	委託先	N P O				
実施期間	開始	経過	終了	期間			
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	スポーツを始めようとしている市民が	～になる	きっかけになるとともに、継続できるようになります。			
事務事業の内容	スポーツを始めるきっかけづくりとして、初心者を対象に1期から3期に分けて、スクールと教室を開催します。 スクールは体育協会に運営委託しており、体育協会が主催する教室と合わせて内容を決めています。委託料と補助金でスクールと教室の運営を体育協会が行なっており、スポーツ振興の推進を図っています。						
改善・対策の履歴	スクール・教室に複数回参加している人には、自主グループの組織化への依頼を行っています。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	12,941	10,368	10,370	14,443	13,597
財源計	11,807	10,179	10,181	14,254	13,408
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	3,390	3,669	3,000	4,514
	一般財源	8,417	6,510	7,181	9,740
受益者負担金	0	0	3,000	3,000	3,000
職員人件費 (従事職員数)	1,134 (0.18)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) スポーツスクール開催業務委託	見込	850.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
活動2	指標名 (単位) 委託件数(件)	活動の総事業費 (千円)	9,173	8,716	8,657		
		活動にかかるコスト (千円)	9,173.00	8,716.00	8,657.00		
活動3	活動名 (活動内容) スポーツ教室補助	見込	1,100.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
成果1	指標名 (単位) 補助件数(件)	活動の総事業費 (千円)	1,578	1,263	1,263		
		活動にかかるコスト (千円)	1,578.00	1,263.00	1,263.00		
成果2	活動名 (活動内容)	見込					
		実績					
成果3	指標名 (単位)	活動の総事業費 (千円)					
		活動にかかるコスト (千円)					

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	スポーツスクール・教室の参加者数(人)	目標	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00
		実績	2,267.00	2,288.00	2,242.00		
目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	2,100.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標			
目標達成年度		目標成果指標値		実績			
成果3				達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	参加者の健康の維持増進に貢献でき、医療費の削減ができました。
----	--------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	おおむね参加者15人に対して講師1人の割合で開催し、講師の謝金を支払っています。体育協会が事業を円滑に運営しており、大きなコストの変動は見られません。
成果	明確な原因は不明ですが、今後も事業のPRが必要です。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
初心者を対象にしており、各競技の普及にも貢献することから、参加者の拡大を図るべく市民へのPRに努めています。健康管理や体力の保持増進を目的とした高齢者の方にも気軽に参加してもらえる内容を検討します。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	生涯スポーツのきっかけづくりをしており、マイスポーツ運動の推進に寄与しており、今後も事業を継続していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	775	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者	籠瀬博敬
決裁者	野畠伸						
事務事業名	スポーツ観戦推進事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 1 マイスポーツ運動の推進 2 スポーツをみる機会の提供	予算科目(会計)	一般会計				
		予算科目(款・項・目)	50-30-5				
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画				
		関連する総合計画の施策					
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託	委託先	その他(NPO法人安城市体育協会)				
実施期間	開始 平成10年度	経過 16年目	終了	期間			
求める成果(目的)	誰(受益者)が	スポーツに興味・関心のある市民が	～になる	スポーツをみる楽しさを味わうことができます。			
事務事業の内容	トップレベルの選手の技術やプレーを見ることで、スポーツの魅力や感動を与えることができます。また、技術指導会などを開催し、ジュニアの競技力向上にも努めることができます。						
改善・対策の履歴	広報あんじょう、ホームページでの参加者募集だけでなく、スポーツ少年団への依頼を行う等して、参加者を増やすための働きかけを強化しました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	823	824	824	833	844
財源計	697	698	698	707	718
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	697	698	698	707
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績	1.00	1.00	1.00	
活動2	指標名 (単位)	活動の総事業費 (千円)	824	824	832	
		活動にかかるコスト (千円)	824.00	824.00	832.00	
活動3	活動名 (活動内容)	見込				
		実績				
指標名 (単位)	活動の総事業費 (千円)					
	活動にかかるコスト (千円)					

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	参加者数(人)		目標	200.00	300.00	300.00	300.00
			実績	518.00	449.00	120.00	
成果2	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	300.00	達成状況	達成	達成
					目標		
成果	目標達成年度		目標成果指標値		実績		
					達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	スポーツを観ることをきっかけにし、スポーツをする人が増えました。
----	----------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	体育協会に事業を委託し、円滑な運営ができていることから、大きなコストの変化は見られません。
成果	毎年種目を変えて実施していることから、種目の違いによる関心度の違いや競技者の大小が、参加者数の違いに表れていると考えられます。また、平成25年度は、スキーを種目として岐阜県のスキー場で開催したため、参加者が減少しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
毎年、できる限り多くの方に参加していただけるよう、様々な手段を使い、積極的にPRをしていきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	「する」だけない、スポーツの楽しみ方を広めるとともに、「みる」ことから「する」ことに繋げていただくため、今後も事業を継続していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	776	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者	籠瀬博敬
決裁者	野畠伸						
事務事業名	スポーツ活動表彰・激励事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 2 競技スポーツの振興 1 スポーツ表彰と激励金制度の充実	予算科目(会計)	一般会計				
		予算科目(款・項・目)	50-30-5				
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画				
		関連する総合計画の施策					
性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの					
根拠法令	有	安城市体育表彰選考要綱、安城市全国大会等激励金交付要綱					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営	委託先					
実施期間	開始 平成14年度	経過 12年目	終了	期間			
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	その競技種目で活動している市民が	～になる	全国大会・国際大会へ出場する際に精神的な励みになります。			
事務事業の内容	国際大会や全国大会に代表選手として出場する市民の活躍を激励するため、「全国大会等激励金交付要綱」に基づき、激励金の交付を行っています。また、選手や指導者の功績を称え、励みとなるよう、全国大会等で優秀な成績を残された選手やスポーツの普及発展のあった人の表彰を行っています。						
改善・対策の履歴	激励金交付制度については、制度の周知を強化して、交付者の増加を図りました。体育表彰制度については、体育協会加盟スポーツ団体に照会し、優秀な成績を残された選手の把握に努めました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,542	3,957	4,060	4,498	4,060
財源計	1,392	1,626	1,729	2,167	1,729
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	1,392	1,626	1,729	2,167
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,150 (0.50)	2,331 (0.37)	2,331 (0.37)	2,331 (0.37)	2,331 (0.37)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) 激励金の交付	見込	110.00	110.00	110.00	110.00
		実績	104.00	175.00	183.00	
活動2	指標名 (単位) 交付件数(件)	活動の総事業費 (千円)	3,912	3,957	4,050	
		活動にかかるコスト (千円)	37.62	22.61	22.13	
活動3	活動名 (活動内容)	見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				
活動名 (活動内容)		見込				
		実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
		活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	優秀選手表彰件数(件)	目標	35.00	37.00	40.00	40.00
		実績	48.00	63.00	80.00	
成果2	目標達成年度 平成27年度 目標成果指標値 41.00	達成状況	未達成	達成	達成	
		目標				
成果	目標達成年度 目標成果指標値	実績				
		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	競技スポーツ実施者の励みとなりました。また、優秀選手の活躍についてPRすることで、市民の地元への愛着心の向上につながりました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	ホームページ、市広報などで激励金制度の積極的なPRを行ったことにより、活動コストの削減につながりました。
成果	激励金制度による競技意欲の向上、スポーツ指導者の資質向上により、競技スポーツ実施者のレベルが上がり、表彰件数が増加していると考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
活動コスト	今後も、激励金制度のPR、優秀選手の表彰や活躍のPRに努めます。激励金についてはばら撒きではなく、一定の制限が必要になりますので、制度の見直しについても検討します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	表彰件数も増加しており、競技力向上につながっていると考えられることから、今後も事業を継続します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	777	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 籠瀬博敬
決裁者	野畠伸					
事務事業名	スポーツ選手育成事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 2 競技スポーツの振興 2 選手育成事業の推進	予算科目(会計)	一般会計					
		予算科目(款・項・目)	50-30-5					
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画					
		関連する総合計画の施策						
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの					
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	その他(NPO法人安城市体育協会)					
実施期間	開始 平成14年度	経過	12年目	終了	期間			
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	ジュニアのスポーツ選手が		～になる	スポーツをする励みや競技力の向上に貢献しました。			
事務事業の内容	体育協会加盟団体及びスポーツ少年団が実施する、ジュニア選手対象の技術指導会や競技会などを支援し、競技力の向上とスポーツの楽しさを広げることを目的に体育協会に業務委託して実施します。							
改善・対策の履歴	体育協会加盟団体の全てで競技会や指導会が開催されるとともに、より効果の高い内容となるよう体育協会加盟団体に働きかけを行いました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,132	1,731	1,731	1,660	1,753
財源計	746	786	786	715	808
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	746	786	715	808
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,386 (0.22)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) 託	見込	18.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
活動2	指標名 (単位) 委託件数(件)	活動の総事業費 (千円)	2,132	1,731	1,660		
		活動にかかるコスト (千円)	2,132.00	1,731.00	1,660.00		
活動3	活動名 (活動内容)	見込					
		実績					
指標名 (単位)	活動の総事業費 (千円)						
	活動にかかるコスト (千円)						

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	参加人数(人)	目標	3,500.00	3,800.00	3,800.00	3,800.00	3,800.00
		実績	4,456.00	4,857.00	4,755.00		
成果2	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	3,800.00	達成状況	達成	達成
					目標		
成果	目標達成年度		目標成果指標値		実績		
					達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	ジュニア選手の競技力向上とともに、マナーの向上につながりました。
----	----------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
業務を体育協会に委託し、少しずつコストの減少につながっています。
明確な理由は不明ですが、年ごとに参加人数はばらつきがあります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
ジュニアのスポーツ選手育成は、スポーツ競技力の向上だけでなく、マナー教育の場としても有効です。継続的な事業実施をする中で、質の高い指導者の育成が必要で指導者講習会への参加促進が大切です。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
維持・継続 東京オリンピックを控え、ジュニア選手の強化は重要であることから、今後も事業を継続します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	778	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 籠瀬博敬
決裁者	野畠伸					
事務事業名	スポーツ指導者育成事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 3 指導者の養成 2 指導者研修会の充実	予算科目(会計)	一般会計	
		予算科目(款・項・目)	50-30-5	
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画	
		関連する総合計画の施策		
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無			
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	全部委託	委託先	N P O, その他(N P O法人安城市体育協会)	
実施期間	開 始	経 過	終 了	期 間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	スポーツ指導者の市民が	～になる	自信を持って、スポーツ指導ができるようになります。
事務事業の内容	スポーツを指導する方の知識や資質の向上を目的に実施します。8講座程度で、社会学、栄養学、A E Dなど学習します。体育協会委託事業として開催しており、指導者認定期間は3年間としています。			
改善・対策の履歴	スポーツ指導者養成講習会の参加者を増やすため、広報あんじょう、ホームページでの募集だけでなく、スポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者へ直接案内するなど、PRの強化を行いました。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	704	1,145	1,145	1,145	1,286
財源計	578	578	578	578	719
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	578	578	578	719
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	567 (0.09)	567 (0.09)	567 (0.09)	567 (0.09)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) スポーツ指導者養成講習会開催業務委託	見込 実績	見込	5.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	1.00
活動2	指標名 (単位) 委託件数(件)	活動の総事業費 (千円) 活動にかかるコスト (千円)	活動の総事業費 (千円)	704	1,145	1,145	1,145
			活動にかかるコスト (千円)	704.00	1,145.00	1,145.00	1,145.00
活動3	活動名 (活動内容)	見込 実績	見込				
			実績				
指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円) 活動にかかるコスト (千円)	活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	講習会参加者(人)			目標	30.00	30.00	30.00	30.00
				実績	48.00	36.00	48.00	48.00
目標達成年度		平成26年度	目標成果指標値	30.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
目標達成年度		目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	スポーツ指導者の資質向上とともに、指導を受けているスポーツ愛好者の技術向上、安全意識が高まりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	体育協会に業務を委託し、円滑な運営ができていることから、平成24年度と平成25年度の活動コストの増減は見られません。
成果	明確な理由は不明ですが、毎年、参加者数に変動があります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
さらに講習会のPRを充実し、参加者の増加に努めます。 講習会修了者に指導者資格を付与し、指導者として地域に派遣するなど、活動機会を与える制度の検討をNPO法人安城市体育協会と協働で行います。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	スポーツ指導者が特に資格を保有せず、スポーツ指導を行っていることが多いことや、スポーツ指導者が自分自身の資質に不安を抱えている状況が多く見られることから、講習会の意義は大変重要です。このことから事業を継続して行います。

事務事業調書

平成26年度

事業No	779	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 河村泰宏
						決裁者 野畠伸
事務事業名	総合型地域スポーツクラブ育成事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 4 スポーツ団体の育成 1 総合型地域スポーツクラブの育成	予算科目(会計)	一般会計	
		予算科目(款・項・目)	50-30-5	
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画	
		関連する総合計画の施策		
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無			
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	有	「H17.12.712月定例議会一般質問」総合型地域スポーツクラブの育成と今後の予定		
陳情・市民要望	無			
実施方法	全部委託	委託先	その他(スポーツ推進委員を中心とした地域の組織)	
実施期間	開始 平成17年度	経過 9年目	終了	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	スポーツに親しみたいと考える市民が ～になる	地域で気軽にスポーツ、健康づくり教室等に参加できます	
事務事業の内容	スポーツ振興計画に基づき新しいスポーツ環境として提案された「総合型地域スポーツクラブ」育成に取り組みます。			
改善・対策の履歴	ANJOほく部みんなのスポーツクラブの打ち合わせに参加し、活動の状況を把握するようにしています。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,293	2,166	2,533	2,172	2,459
財源計	403	402	769	408	695
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	403	402	769	408
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,890 (0.30)	1,764 (0.28)	1,764 (0.28)	1,764 (0.28)	1,764 (0.28)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	総合型地域スポーツクラブ スポーツ振興業務委託	見込	20.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00
活動2	指標名 (単位)	委託件数(件)	活動の総事業費 (千円)	1,345	1,282	1,282
			活動にかかるコスト (千円)	1,345.00	1,282.00	1,282.00
活動3	活動名 (活動内容)		見込			
	指標名 (単位)		実績			

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	総合型地域スポーツクラブ主要事業参加者数(人)			目標	7,000.00	7,000.00	7,000.00
				実績	7,968.00	7,970.00	8,047.00
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	7,000.00	達成状況	達成	達成
成果2				目標			
				実績			
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	総合型地域スポーツクラブ「ANJOほく部みんスポクラブ」が行うスポーツ交流やイベントにより、スポーツへの関心が高まるとともに、地域のコミュニティの醸成につながりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	総合型地域スポーツクラブ「ANJOほく部みんスポクラブ」の事業は円滑に行われており、大きなコストの変動は見られません。
成果	総合型地域スポーツクラブ「ANJOほく部みんスポクラブ」が、地域に根付いてきており、少しずつ参加者が増加傾向にあります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	総合型地域スポーツクラブに関して、そらなる情報提供に努め、事業への参加者増加を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	身近な場所でスポーツができる機会を充実することは、重要であることから、今後も事業を継続します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	780	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者	籠瀬博敬
決裁者	野畠伸						
事務事業名	自主スポーツグループ育成事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 2 競技スポーツの振興 2 選手育成事業の推進	予算科目(会計)	一般会計	
		予算科目(款・項・目)	50-30-5	
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画	
		関連する総合計画の施策		
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無			
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	一部委託	委託先	その他(NPO法人安城市体育協会)	
実施期間	開始 昭和23年度	経過	66年目	
求める成果(目的)	誰(受益者)が	スポーツ愛好者及び指導者が ～になる	スポーツをする励みになり、スポーツ活動が盛んになります。	
事務事業の内容	・NPO体育協会の各競技団体は、定期的な大会や指導者講習会など多くの行事を開催し、市民の健康づくり、仲間づくりや競技力の向上を振興しています。・スポーツ少年団の活動は、毎週1~2回それぞれのスポーツ種目を実施し、スポーツを通じて心と体を鍛えています。また、スポーツ少年団の意義として、子どもの居場所作りになっています。			
改善・対策の履歴	スポーツ少年団の主体的な活動のため、協議を行いました。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	7,645	6,574	6,574	6,574	6,743
財源計	6,259	6,259	6,259	6,259	6,428
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	6,259	6,259	6,259	6,428
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,386 (0.22)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容) スポーツ振興事業業務委託	委託件数(件)	見込	13,000.00	1.00	1.00	1.00
	実績		1.00	1.00	1.00	1.00	
活動2	活動名 (活動内容)		活動の総事業費 (千円)	5,699	4,691	4,628	
	指標名 (単位)		活動にかかるコスト (千円)	5,699.00	4,691.00	4,628.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
	指標名 (単位)		実績				
	活動名 (活動内容)		活動の総事業費 (千円)				
	指標名 (単位)		活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	体育協会会員数(人)			目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	実績			14,174.00	14,103.00	13,714.00		
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	10,000.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
	実績							
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	NPO法人安城市体育協会（20競技団体、スポーツ少年団）の各競技団体は、定期的な大会や指導者講習会など多くの行事を開催し、市民の健康づくり、仲間づくりや競技力の向上を振興しています。また、スポーツ少年団の活動は、毎週1～2回それぞれのスポーツ種目を実施し、スポーツを通じて子どもたちの心と体を鍛え、子どもたちの居場所作りにもなっています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	体育協会に業務を委託し、職員の負担が減っていることから、活動のコストも減少しています。
成果	体育協会加盟団体の努力により、目標を達成できています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	体育協会加盟団体をはじめとしたスポーツ団体の活動について、情報提供をはじめとした各種支援を継続し、団体の会員数の増加を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	市とともに協働でスポーツ振興を図る団体の活動充実のための支援は、今後も重要であることから、事業を継続します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	781	課	スポーツ課	係	スポーツ振興係	起案者 河村泰宏
						決裁者 野畠伸
事務事業名	市民地域スポーツ交流会開催事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 1 マイスポーツ運動の推進 1 市民が参加しやすいスポーツの提供	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-30-5
		総合計画以外の計画	スポーツ振興計画
		関連する総合計画の施策	
		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無		
法定受託事務	無		
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		
実施方法	一部委託	委託先	その他(スポーツ推進委員)
実施期間	開始 平成19年度	経過 7年目	終了
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	スポーツをしたいと考えている市民が	～になる 身近な場所でスポーツを親しむようになります。
事務事業の内容	昭和23年から行われていた市民体育大会中央大会の開催種目見直しをスポーツ推進委員と体育協会で行った結果、平成19年度から中央大会を廃止して、新たな地域のスポーツ環境づくりとして「市民地域スポーツ交流会」に移行しました。中学校区を中心とするエリアにおいて、スポーツ推進委員を中心に既存団体と連携し多くの市民が参加しやすい交流会を開催します。		
改善・対策の履歴	交流会の内容充実のため、スポーツ推進委員に対し、交流会開催の趣旨や委託料の使途について、理解を深めるための説明を行いました。		

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,977	4,177	4,353	4,096	4,077
財源計	2,158	2,161	2,337	2,080	2,061
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	2,158	2,161	2,337	2,080
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	819 (0.13)	2,016 (0.32)	2,016 (0.32)	2,016 (0.32)	2,016 (0.32)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	見込	66.00	21.00	21.00	21.00
		実績	21.00	21.00	21.00	
活動2	指標名 (単位)	活動の総事業費 (千円)	2,838	4,177	4,096	
		活動にかかるコスト (千円)	135.14	198.90	195.05	
活動3	活動名 (活動内容)	見込				
		実績				
指標名 (単位)	活動の総事業費 (千円)					
	活動にかかるコスト (千円)					

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	市民地域スポーツ交流会参加者数(人)			目標	4,100.00	4,400.00	4,400.00	4,400.00
				実績	4,198.00	3,926.00	4,035.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	4,400.00	達成状況	達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	幅広い世代の方がスポーツと一緒に楽しむことができ、人と人とのつながりや地域の活力向上につながりました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等 スポーツ推進委員に市民地域スポーツ交流会の運営を委託しており、大きな活動コストの変動は見られません。
成果	新しい参加者がなかなか増加しないことから、全体の参加者数は、毎年4000人前後で推移しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案 市民地域スポーツ交流会の情報提供を積極的に行い、参加者の増加を図ります。
--

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	身近な場所でスポーツができる環境を充実することは、スポーツ実施率の向上のため重要であることから、今後も事業を継続します。
拡充	